

専門課程シラバス

科目区分	専門分野	単位数・時間数	2単位・90時間	開講時期	3年 前期～後期
授業科目名	母性看護学実習			授業形態	臨地実習
担当教員	武森 勢津子		実務経験	○(看護師)	
授業概要	母性機能が最も発揮される周産期の対象をとおして母性の特性を理解し、対象とその家族に対する看護を学ぶ。				
学習目的	母性の特性を理解し、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における生理的变化と健康問題を理解し、母児とその家族に対して適切な看護が実践できる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周産期がある対象をとおして母性の特性を理解し、対象に必要な看護および保健指導を見学し外来看護を理解できる。</li> <li>2. 周産期にある対象をとおして母性の特性を理解し、対象とその家族に対する看護に必要な能力を養うことができる。</li> </ol>				
授業内容	<p><b>【外来実習】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周産期にある対象を理解する。</li> <li>2. 周産期にある対象に必要な基本的技術が理解する。</li> <li>3. 母児が活用できる社会資源を理解する。</li> <li>4. 母子保健チームにおける看護師の役割を理解する。</li> </ol> <p><b>【病棟実習】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周産期の対象の生理的・心理的・社会的変化を理解する。</li> <li>2. 周産期の対象に適した看護の展開を行う。</li> <li>3. 周産期にある対象に必要な基本的看護技術を理解し、実施する。</li> <li>4. 周産期の対象、および家族に必要な保健指導を理解する。</li> <li>5. 母児が活用できる社会資源を理解する。</li> <li>6. 母子保健チームにおける看護師の役割を理解する。</li> </ol> <p>実習期間： 9日間            実習時間： 8:00～16:30            実習展開については実習要項参照</p>				
評価方法	母性看護学実習の評価基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から学生・教員(臨地実習指導者所見)で評価を行い総合評価がC以上で合格とする。				
教科書 参考図書 等	系統看護学講座 専門分野 母性看護学1 母性看護学概論(医学書院) 系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論(医学書院) 直前 母性看護学実習プレブック ・看護過程のプロセス(医歯薬出版社)				
備考					